



お答えいただいたのは
大原ちか眼科
院長 **大原 千佳** 先生
<http://oharachika-ganka.com/>

Q 子どもの眼鏡は、ひんぱんにかけたり外したりしない方が目のためにいい？

A お子様目の目のタイプによって異なります。たとえば遠視や斜視・斜位の場合は、かけ外しをするのはNG。常に眼鏡をかけていないと状態を悪くしてしまいます。近視の場合、学校の教室で黒板の文字が読める指標が0.7とされており、裸眼視力がそれ以下なら常時かけている方が良いでしょう。また、乱視が強い場合も、数字の3と8を間違えたり、漢字を間違えて覚えたりすることがあるので、かけ外しするのはおすすめてできません。ちなみに、「眼鏡をかけていると近視が進む」と聞いたことがあるかもしれませんが、これは間違いです。

初めての眼鏡は、少し抵抗があるかもしれませんが、徐々に慣れてくるものです。近視が進行するスピードは、お子様それぞれで違いますので、3才

Q ものもらいは、他の人にもうつるの？

A 一般的に「ものもらい」と呼ばれているのは、まぶたにある分泌腺にばい菌が入って、そこが腫れている、という状態です。これが伝染することはありません。たまに、右目にもものもらいができただ後に左目にもできた…という方がいますが、転移しているのではなく、体質や体調によるもの。抵抗力が落ちている＝疲れのサインとも考えられます。

気になるのは、他の病気との混同です。たとえば流行性角結膜炎（はやり目）は、まぶたが腫れる症状も出たりするので、これをものもらいと勘違いされている場合もあります。流行性角結膜炎は、その名の通り人に伝染して流行する病気です。もし罹ったら、園や学校などは休む必要があります。こういった混同を避けるためにも、目に異常を感じたら、すぐに眼科医へ相談しましょう。

くらいになったら信頼できるかかりつけの眼科を見つけて、定期的に検診を受け、不安がある場合は医師と相談しながら、眼鏡を有効に活用しましょう。